

令和 8 年

第 2 回町議会定例会

行 政 報 告

(令和 8 年 6 月 2 4 日)

幕別町長 飯田 晴義

お許しをいただきましたので、行政報告をさせていただきます。

(明野ヶ丘公園パーク P F I について)

明野ヶ丘公園パーク P F I についてご報告申し上げます。

明野ヶ丘公園は、幕別の歴史と自然を後世に残すことを目的に、開基 80 年記念事業として、昭和 52 年から 14 年間かけて整備された 25 h a に及ぶ公園で、60 年から平成 9 年までは、スキー場の斜面に植栽した芝桜を眺めながら、ビールや焼肉を楽しむ「芝桜まつり」が開催されたほか、8 年には開基百年事業としてアイヌ語で「偉大な崖」を意味する「ピラ・リ」を建設するなど、自然景観に親しみながらスキーやパークゴルフ、マウンテンバイクなどのスポーツも楽しむことができる総合公園として、町民の皆さんに親しまれてきました。

その後、少子化や余暇活動の多様化などに伴い公園利用者が徐々に減少する中、平成 30 年に幕別小学校の 3 年生 24 名から「まくべつ町の公園のみらい」として要望書をいただいたのを機に、明野ヶ丘公園の再整備に着手したところであり、2 度にわたる住民ワークショップを経て、再整備の具体的な計画や整備手法等を検討してまいりました。

そのような中で、平成 29 年の都市公園法改正により、民間の資金やノウハウを活用する手法として、民間事業者が、公園内に飲食店や売店など収益施設を設置し、その収益の一部を活用して公園利用者のためのトイレ・駐車場等の特定公園施設を一体的に整備・改修させる官民連携の制度である「公募設置管理制度（パーク P F I）」が創設されたことから、恵庭市などの先進事例を調査するとともに、令和 5 年以降、民間事業者 27 社に対して事業実施の意向を確認したところ、興味があると回答した 5 社との意見交換を実施してまいりました。

令和 7 年からは、このうち具体的な事業計画があった民間事業者 1 社とのヒアリングを行い、事業参入への意欲や事業の実施条件など、民間活力導入の有効性と事業の実現性が確認できたことから、公園利用者の利便性向上と公園全体の魅力向上を図る

新たな手法としての「パーク P F I」を導入することとしたところであります。

今回公募を行うに当たりましては、大学教授や公認会計士などを含む 10 名の委員による明野ヶ丘公園公募設置管理制度事業プロポーザル審査委員会を本年 4 月 28 日に開催し、5 月 1 日から 6 月 5 日までの間公募した結果、1 者から応募があったため、6 月 15 日開催の第 2 回審査委員会での評価結果を踏まえ、19 日に十勝蒸溜所株式会社を代表とし町内事業者を含む 6 社による法人グループ「十勝蒸溜所」を設置等予定者に決定したものであります。

事業内容につきましては、「水・農・発酵が森でつながる、地域資源循環型の公園活用」を事業コンセプトに、明野ヶ丘公園の自然や眺望を活かし、町内外からの来訪者が交流できる拠点の整備や、幕別町産の農畜産物を使用したレストランのほか、子どもから大人までが蒸溜体験を楽しめる体験学習施設の機能を有する蒸溜所の整備を予定しております。

また、特定公園施設として、設置等予定者がトイレや外構、駐車場の再整備などを行うため、町としても 1 億円程度の歳出削減効果が見込まれるものと考えております。

今後の予定といたしましては、7 月に基本協定書を締結し、関係機関との協議や手続きを経て、実施協定の締結後に工事に着手し、来年 6 月頃のオープンを目指しているものであります。

以上、行政報告とさせていただきます。